

平成25年度病虫害発生予察予報第12号(3月)

平成 26年 3 月 5 日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
抑制・促成キュウリ	べと病	並～やや多
	褐斑病	少
	うどんこ病	多
	つる枯病	並
	黄化えそ病	並
	ミナミキイロアザミウマ	<u>やや多</u>
	タバココナジラミ	並
促成ナス	黒枯病	<u>多</u>
	すすかび病	<u>やや多</u>
	うどんこ病	<u>多</u>
	ミナミキイロアザミウマ	少
	ヒラズハナアザミウマ	少
	タバココナジラミ	<u>やや多</u>
	ハモグリバエ類	少
促成ピーマン・シシトウ	ホコリダニ類	少
	黒枯病	<u>やや多</u>
	斑点病	<u>多</u>
	うどんこ病	<u>やや多</u>
	アブラムシ類	<u>やや多</u>
	ミナミキイロアザミウマ	並
	ヒラズハナアザミウマ	並
促成トマト	タバココナジラミ	並
	ハダニ類	並
	灰色かび病	<u>多</u>
	葉かび病	少
	すすかび病	並
	黄化葉巻病	並～やや多
	タバココナジラミ	<u>やや多</u>

I 気象予報(高松地方気象台 平成26年2月28日発表)

＜予想される向こう1か月の天候＞

天気は、数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月の平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

＜確率＞

(単位:%)

期 間	要 素	予報対象地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多い)
1ヶ月	気 温	四国地方	40		20
	降 水 量		20	40	40
	日照時間		40	40	20
1週目	気 温	四国地方	40		20
2週目			40		20
3～4週目			30	40	30

＜予報の対象期間＞

1ヶ月 : 3月 1日(土) ～ 3月 28日(日)

1週目 : 3月 1日(土) ～ 3月 7日(金)

2週目 : 3月 8日(土) ～ 3月 14日(金)

3～4週目 : 3月 15日(土) ～ 3月 28日(金)

II 病虫害発生予想

1. 抑制・促成キュウリの病虫害

1) 黄化えそ病

予 想 発生時期:並 / 発生量:並
根 拠

- (1) 2月下旬の巡回調査で本病害は少～並ですが、媒介虫であるミナミキイロアザミウマは県全域で多発生である。
- (2) 黄化えそ病の発病株率が中央部～中西部では平年並～高く、ウイルス感染株が多いことから、今後ミナミキイロアザミウマの増加に伴って、新たな感染が増加すると予想される。

対 策

- (1) 発病株は感染源になることから、見つけ次第早めに除去する。
- (2) 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除については、当該害虫の項を参照。

2) ベと病

予 想 発生時期:並 / 発生量:平年並～やや多
根 拠

- (1) 現在、県中央部は平年並、中西部～西部では少～やや少発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されており、ハウス内が高湿度状態になりやすく、現在の発生状況よりやや病勢を進展させる気象要素と考えられ、発生量は平年並～やや多で推移すると予想される。

対 策

- (1) やや低温で多湿が発生の条件であることから、十分な換気と適正な温度管理に留意する。
- (2) 蔓延すると防除が困難になることから、初期防除に努める。
- (3) 窒素不足や土壌水分過多は発生を助長するので、適正な肥培管理により草勢を維持する。

3) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生時期: 並 / 発生量: やや多
根 拠

- (1) 現在、県中央部で発生面積、寄生葉率とも高水準である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されているが、3月中下旬からの温度上昇にともなって、ハウス内で増殖が進むとともに野外からの飛びこみも考えられ、現状よりさらに増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) ミナミキイロアザミウマは生長点部を好んで寄生するため見つけにくく、また、薬剤もかかりにくいことから、散布にあたっては丁寧な散布を心がける。また、薬剤感受性低下の事例も報告されており、同一薬剤や系統の同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 粘着資材等の物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。ただ、紫外線カットフィルム下では青色には誘引されないため黄色を利用する。

2. 促成ナスの病害虫

1) 黒枯病

予 想 発生時期: 並 / 発生量: 多
根 拠

- (1) 現在、県東部中央部で発生面積、程度とも平年を上回る水準である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されているが、3月中下旬からの温度上昇にともなって、既発ほ場で発生がより進展すると考えられる。

対 策

- (1) 蔓延すると防除困難なことから初期から防除を徹底し、薬剤感受性低下発現を防ぐため同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 多湿や急激な温湿度管理、極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長させるので避ける。

2) すすかび病

予 想 発生時期: 並 / 発生量: やや多
根 拠

- (1) 現在、発生面積は県東部で平年並、中央部で多発生であった。また、発病度は中央部と東部で平年を上回る水準である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されているが、3月中下旬からの温度上昇にともなって、既発ほ場で発生がより進展すると考えられ、増加傾向で推移する予想される。

対 策

- (1) 蔓延すると防除困難なことから初期から防除を徹底し、薬剤感受性低下発現を防ぐため同じ薬

剤の連用は避ける。

- (2) 多湿や急激な温湿度管理、極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長させるので避ける。

3) うどんこ病

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 現在、県全域で発生面積が平年を上回っている。
(2) 向こう1か月の気象予報では気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されているが、3月中下旬からの温度上昇にともなって、既発ほ場で発生がより進展するとともに、本病害の発生しやすい時期でもあることから、新たに発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 蔓延すると防除困難なことから初期から防除を徹底し、耐性発現を防ぐため同じ薬剤の連用は避ける。
(2) 多湿や急激な温湿度管理、極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長させるので避ける。

4) タバココナジラミ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多
根 拠

- (1) 現在、発生面積は県東部で多く、寄生株率は東部～中央部で高い水準である。
(2) 向こう1か月の気象予報では気温の上昇が予想されており、このままやや多発生で推移すると考えられる。ただ、タバコカスミカメを中心とした天敵防除が導入されているほ場では、急激な増殖は少ないと考えられる。

対 策

- (1) 薬剤感受性低下回避のため系統の同じ薬剤の連用は避け、発生初期から薬剤防除を行う。
(2) 黄色粘着資材等物理的防除も併用し、ハウス内での密度低減に努める。

3. 促成ピーマン・シシトウの病害虫

1) 斑点病

予 想 発生時期:並 / 発生量:多
根 拠

- (1) 現在、県内全域で平年に比べて多発生で、県東部と西部では発病度も平年より高い。
(2) 向こう1か月の気象予報では、気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されているが、天敵導入により薬剤防除回数も減少していること、温度上昇にともなって増加傾向になると考えられることから、多発生が予想される。

対 策

- (1) 多湿条件が発生を助長するので、換気を十分に行い、適正な温湿度管理に留意する。
(2) 蔓延すると防除が困難になるので、初期防除を徹底するとともに、感染源となる罹病部位はできるだけほ場外へ出す。

2) 黒枯病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1) 現在、県中央部で発生面積が平年を上回る水準である。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されているが、3月中下旬からの温度上昇にともなって、既発ほ場で発生がより進展すると考えられる。

対 策

- (1) 蔓延すると防除困難なことから初期から防除を徹底し、薬剤感受性低下発現を防ぐため同じ薬剤の連用は避ける。
- (2) 多湿や急激な温湿度管理、極端な肥培管理は草勢を低下させ、病勢進展を助長させるので避ける。

3) アブラムシ類

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1) 現在、県東部で並、県中央部ではやや多発生である。発生しているアブラムシの種類は、ワタアブラムシ、モモアカアブラムシである。
- (2) 向こう1か月の気象予報では、気温の上昇が予想されており、既発ほ場を含め現在の発生状況より増加傾向で推移すると考えられる。

対 策

- (1) 増殖が速く、また局部的に多発する場合があるので、発見が遅れないように注意し早めに防除する。
- (2) 天敵導入の際は発生しているアブラムシの種類に注意して、効果のある天敵を導入する。なお密度の高くなったほ場では、天敵に影響の少ない薬剤で密度を下げてから天敵を放飼する。

4. 促成トマトの病害虫

1) 灰色かび病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1) 現在、平年に比べ発生面積、発病果率とも平年より高いレベルである。
- (2) 向こう1か月の気象予報では気温はやや低く、降水量はやや多いと予想されており、病勢を助長する気象要因がいことから、今後も増加傾向で推移すると考えられる。

対 策

- (1) 発病後では防除が困難であるので、予防を主体とし、発生を見たら早めに治療効果の高い薬剤で対応する。
- (2) 蒸し込みぎみの管理や過繁茂は本病を助長することから、温湿度管理や換気、肥培管理、摘葉等作業には十分留意し、適正な栽培管理に努める。

2) トマト黄化葉巻病(TYLCV)、タバコナジラミ

予 想 発生時期:並 / 発生量:多

根 拠

- (1) 現在、黄化葉巻病の発生は多発生で、媒介虫であるタバコナジラミも平年より多発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報から媒介虫の急激な増加は少ないと思われるが、現在の発生状況から今後気温の増加にともなって、本病害、媒介虫ともに増加傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 発病株は感染源になることから、見つけ次第除去し適正に処理する。

- (2) 媒介虫であるタバコナジラミの防除を徹底する。薬剤散布に当たっては感受性低下を生じないように同一薬剤の連用は避け、感受性低下の恐れのない気門封鎖型の薬剤も使用する。
- (3) 防虫ネットや粘着資材の設置など物理的な方法も活用し、タバコナジラミの侵入及び密度の低減に努める。

県民の皆様提供に提供する農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. **病虫害防除所ホームページ**（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>
 - ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
 - ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
 - ③病虫害発生予察技術資料
 - ④新しく問題となっている病虫害 etc.
2. **こうち農業ネットサービス**※当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。
 - ・携帯電話を使った病虫害関連情報（どなたでも利用可能です）
 - [http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/\(Iモード\)](http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/(Iモード))
 - トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(ezweb)
 - 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(ヤフー)
 - ①病虫害発生予察情報（概要）